

ITSUKA



 清風会 五日市記念病院
SEIFU HEALTH CARE GROUP

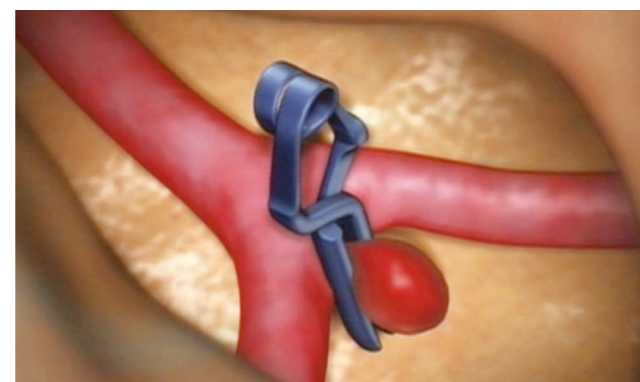




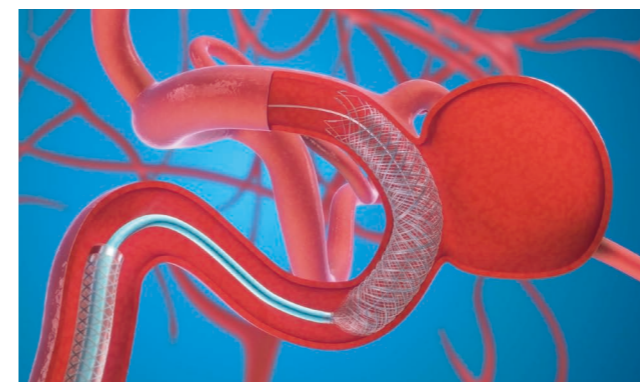
クリッピング術とフローダイバーター 最適な治療を提供

多様な脳動脈瘤に柔軟に対応する治療体制

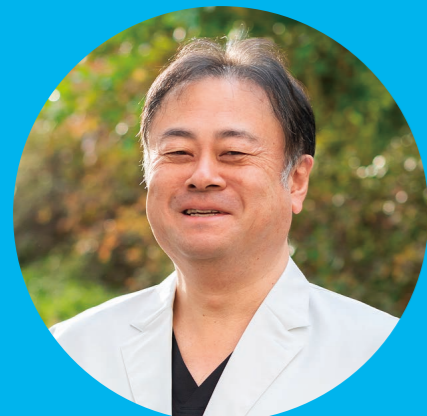
脳動脈瘤は、脳の血管の一部が膨らんでこぶ状になる病気です。破裂するとくも膜下出血を引き起こし、重篤な後遺症や命に関わる危険があるため、早期発見と適切な治療が重要です。当院では、脳動脈瘤の治療において外科的な「クリッピング術」と、脳血管内カテーテルを用いた「フローダイバーター治療」の両方に対応し、患者さんの状態に応じた最適な治療法を提案いたします。クリッピング術は、開頭手術で動脈瘤をクリップで閉じる方法です。確実に動脈瘤の血流を遮断するため、再発のリスクが低いという特長があります。一方、フローダイバーターはカテーテルを使用して動脈瘤の手前に特殊な金属製のメッシュチューブを挿入し、血流を分散させることで自然に動脈瘤が塞がれる治療法です。当院では、経験豊富な専門医が患者さんの状態やリスクを考慮しながら、最適な治療を提供いたします。



クリッピング術



フローダイバーター



クリッピング術担当医
副院長、科長
坪井 俊之

専門分野

脳血管障害、血行再建術、頭蓋底手術

出身大学

宮崎医科大学(平成9年 卒業)

資格

日本脳神経外科学会専門医、指導医
日本脳卒中の外科学会技術指導医
臨床研修指導医
医学博士

Toshiyuki Tsuboi
CLIPPING



フローダイバーター担当医
脳卒中・血管内治療センター長
坂本 繁幸

専門分野

脳血管障害、脳血管内治療

出身大学

広島大学(平成9年 卒業)

資格

日本脳神経外科学会専門医、指導医
日本脳神経血管内治療学会専門医、指導医
日本脳卒中学会専門医、指導医
日本頭痛学会専門医、指導医
医学博士

Shigeyuki Sakamoto
FLOW DIVERTER